

北海道大学 COI&NEXT の活動情報をお届けします。(2023年3月10日配信)

S-RED 通信 Vol.18

北海道大学 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部 (S-RED)

目次

1. 北海道大学 COI-NEXT×OECD プロジェクト∞ 『BEING ALIVE—新たな可能性を生み出す次代へ』 (3月26～27日開催)
2. 【実施報告】岩見沢市立東小学校での「3D プリントによるものづくり」と「資源循環」の授業 (3月8日開催)
3. 【社会動向】子宮頸がんなどを防ぐ「9 価HPVワクチン」が3回接種から2回接種へ
4. 今後のイベント (予定) : 6件掲載

1. 北海道大学 COI-NEXT×OECD プロジェクト∞ 『BEING ALIVE – 新たな可能性を生み出す次代へ』 (3月26～27日開催)

2023
北海道大学COI-NEXT×OECDプロジェクト∞

BEING ALIVE

— 新たな可能性を生み出す次代へ —
2023.3.26 sun ▷ 3.27 mon

DAY1 ワークショップ①
新しいスポーツを楽しもう！

多様な人とのつながりがもたらす恩恵を知るためには、つながりを構築する「新しいビジョン」が必要となります。その「新しいビジョン」に多くの人が触れられるオープンな場へみなさんを招待します。時間と空間を共にし、人間として生きることを学びましょう。

DAY2 ワークショップ②
ショート・フィルム みんなで話そう！

DAY2 ワークショップ③
ブレコン いま何をすべきか一緒に考えよう！

DAY1 会場：北海道札幌啓成高等学校
参加者30名程度を募集します
DAY2 会場：北海道大学FMI国際拠点
※ DAY2はオンライン参加可
参加者30名程度を募集します
+オンライン参加30名程度

北海道大学 COI-NEXT×OECD プロジェクト∞は 3月26・27日の両日、障害のある人/ない人、住んでいる国や考えの同じ人/違う人が一緒になって体験し、考えを共有し合い、新しい価値観を育てていくことをめざすイベント『BEING ALIVE 新たな可能性を生み出す次代へ』を実施します。

現在、イベントに参加できる若い世代の方 60名を募集しています。ぜひご応募ください。

★☆☆開催概要★☆☆

- 開催日時：3月26日（日）～27日（月）
- 会場：DAY1（3/26）北海道札幌啓成高等学校（札幌市厚別区厚別東4条8丁目6番1号）
- 会場：DAY2（3/27）北海道大学 FMI 国際拠点（札幌市北区北21条西11丁目）
- 参加費：無料

★☆☆ワークショップの内容★☆☆

DAY1 ワークショップ①『新しいスポーツを楽しもう！』

- 多様な人とのつながりがもたらす恩恵を知るためには、つながりを構築する「新しいビジョン」が必要となります。その「新しいビジョン」に多くの人に触れられるオープンな場へみなさんを招待します。時間と空間を共にし、人間として生きることを学びましょう。

DAY2 ワークショップ②『ショート・フィルム みんなで話そう！』

- 「人と人が出会っていく、つながっていく」ことや「Home」とは何かについて考えます。
- ※事前に oVice 上でショートフィルム作品『Home Away from Home』を視聴します。

DAY2 ワークショップ③『プレコン（※）いま何をすべきか一緒に考えよう！』

- 健やかな毎日をおくるために今できることを考えてみましょう。
※プレコンセプションケアのこと。世界保健機構（WHO）では、「妊娠前の女性とカップルに生物医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」と定義されていますが、拠点では、プレコンセプションケアを『妊娠を計画している・いないに関わらず、成長段階にあわせてこころとカラダの健康、家族、ウェルビーイングを考えるうえでとても大切なケア』であると捉えています。

★☆☆oVice について★☆☆

3月1日（水）から、2次元バーチャル空間『oVice』を開放し参加される皆さまに「あんしん」と「つながる楽しさ」を提供します。イベント当日を迎えるまでの期間「どんな人が参加するのか」「どんなことをやるのか」「これからどんなことがおこるのか」に触れてワクワクする気持ちでイベント当日を迎えてください。プログラム、出演者の詳細も『oVice』内でお知らせします。

＊詳細は[こちら](#)

＊申込みは[こちら](#)

2. 岩見沢市立東小学校での「3Dプリントによるものづくり」と「資源循環」の授業（3月8日開催）



北海道大学 COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」では、2022年11月から2023年3月にかけて、岩見沢市、株式会社 NODE MEDICAL の協力のもと、小学生が「資源循環」を「3Dプリントによるものづくり」を通して複合的に学ぶことができる授業を企画し、岩見沢市立東小学校において実施しました。

最終日の3月8日（水）、参加した小学生は、自らが作成した3Dモデルの完成品を受け取り、5か月間におよぶ授業の振り返りを行いました。

【授業の内容】

◇第1回目授業

- 岩見沢市内のごみの分別と資源循環について（講師：岩見沢市市民環境部廃棄物対策課）
- 3Dプリントによる個別ニーズに対応したものづくり、リサイクル素材を活用したものづくりの可能性について（講師：株式会社 NODE MEDICAL 代表取締役社長 吉岡純希氏）
- 本学が参画する COI-NEXT「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」（慶

應義塾大学) が取り組む、廃プラスチックをアップサイクルする「しげんポスト」の活動について

◇ **第 1 回目授業後**

- 小学生が制作物のアイデアを考える（ゆきだるまをテーマに一人ひとりがデザインを検討）

◇ **第 2 回目授業**

- 3D モデリング体験授業（講師：株式会社 NODE MEDICAL 代表取締役社長 吉岡氏）

◇ **第 3 回目授業**

- 小学生一人ひとりがデザインしたゆきだるまの 3D モデルを出力した完成品の贈呈、振り返り

これらの授業を通じて、「捨てるもの」が「資源」になり得ることの認識を深め、「SDG12：つかう責任、つくる責任」の意識醸成を図るとともに、3D モデリングの体験から、制作物を立体的にデザインしていく創造力を育むことをねらいとしています（SDG4：質の高い教育をみんなに）。

社会全体でデジタル化の重要性が高まっている中で、若い世代や教育者がデジタル技術に触れ、技術を学ぶのみではなく SDGs などの社会的な道徳の価値も学ぶことが、若い世代の方たちのライフプランにおける選択肢を広げるとともに、他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会の実現に繋がると私たちは考えます。今後は、授業の実施対象の拡大など同様の学びが得られる場を地域につくっていくことをめざします。



出来上がった作品の一部

3. 【社会動向】子宮頸がんなどを防ぐ「9 価 HPV ワクチン」が 3 回接種から 2 回接種へ



2月27日に開かれた厚生労働省の専門家部会は、4月1日から無料定期接種の対象となる9価HPVワクチンの接種回数について、**14歳以下は現在の3回から2回に減らす**ことを了承しました。**15歳以上は現在と同様3回接種**となります。接種回数を2回に減らしても、抗体の値は3回接種時と同程度上昇し、安全性についても特段の懸念はないとのこと。海外では9価HPVワクチンの接種は2回が主流です。

9価ワクチンは、子宮頸がんを引き起こすリスクの高いヒトパピローマウイルスのうち、8割から9割程度を防ぐことができるとされています。無料定期接種の対象となるのは、小学6年生から高校1年生までの女性です。

＊HPV（ヒトパピローマウイルス）とは、性交渉を通じて男女ともに感染する可能性があり、子宮頸がん、口腔咽頭がん、肛門がんなどの原因となります。

出典：

- [厚生労働省](#)（最終アクセス 2023年2月28日）
- [HPV ワクチン WHO ポジションペーパー（2017年5月）](#) [厚生労働省健康局健康課予防接種室仮訳](#)（最終アクセス 2023年2月28日）

4. 今後のイベント（予定）

- * 3月15日 [フードロス削減コンソーシアム 第3回フォーラム](#)
- * 3月18日 [OASOBI \(おあそび\)プロジェクト in 小樽](#)
- * 3月19日 札幌市の高校生等を対象とした「まちづくりコンペティション（札幌市主催）に、北大 COI-NEXT ころとカラダのライフデザイン共創拠点の吉野正則 PL が審査員として参加
- * 3月22日 [令和4年度北海道プライムバイオコミュニティ推進会議](#)
- * 3月26～27日 [北海道大学 COI-NEXT×OECD プロジェクト∞『BEING ALIVE－新たな可能性を生み出す次代へ』](#)
- * 3月30日 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）地域共創分野 拠点面談（東京）

発行：北海道大学 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部（S-RED）
住所：〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目 FMI国際拠点1F
電話：011-706-9602
Email: coi-meeting@fmi.hokudai.ac.jp

【配信停止】

メールの受信をご希望されない場合は、お手数ですが coi-meeting@fmi.hokudai.ac.jp までご連絡をお願いいたします。